



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力に関し、幅広い学術および技術の専門家集団として、社会への情報提供を目的に、主要な活動等について随時プレスリリースを行っています。

今回は、「2026年春の年会」開催のお知らせです。

日本原子力学会「2026年春の年会」開催のお知らせ

会期：2026年3月11日(水)～13日(金)

会場：熊本城ホール、市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市民会館）

熊本城ホール <https://www.kumamoto-jo-hall.jp/>

市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市民会館） <https://stage1kmj.jp/>

主催：一般社団法人日本原子力学会 (<https://www.aesj.net/>)

主な企画セッションは以下のとおりです。

特別セッション

■3月11日(水) 14:30～15:50 L会場【理事会】

東日本大震災から15年 日本原子力学会 特別セッション 座長：小崎 完(北大)

(1) 女川原子力発電所の震災から再稼働までの歩み 阿部 正信(東北電力)

(2) 福島第一原子力発電所廃炉検討委員会のこれまでの活動と今後

宮野 廣(前福島第一原子力発電所廃炉検討委員会委員長)

特別講演

■3月12日(木) 10:30～12:00 L会場【年会実行ワーキンググループ】

(1) くまモンから学ぶ広報・プロモーション戦略 磯田 淳(くまもと DMC)

その他セッション(市民向けイベント)

■3月12日(木) 12:00～17:00 熊本城ホール 4F ホワイエ

【年会実行ワーキンググループ】

体験イベント「実験から学ぶ放射線の基礎とその利用」

委員会セッション

■3月11日(水) 12:30～14:00 A会場【理事会】

加速器放射線が拓くがん治療の未来

座長：村田 勲(阪大)

(1) 放射線治療の現状と課題

福田 茂一(QST)

(2) 住友重機械工業における医療用加速器開発の最新状況

滝 和也(住友重機)

本件に関する取材等お問合せ先

日本原子力学会事務局

TEL : 03-3508-1261 / E-mail: meeting@aesj.or.jp



(3) 加速器放射線がん治療の展望 上坂 充(原子力委員会)

(4) 総合討論

「加速器放射線がん治療の未来のためのアカデミアと原子力学会の役割」

講演者全員、越塚 誠一(東大)、司会：村田 勲(阪大)

■ 3月11日(水) 12:30~14:00 G会場【倫理委員会】

東電福島第一原子力発電所事故から15年の節目で考える倫理的な行動

—組織文化の醸成、安全性向上の取組み等—

座長：大久保 哲朗(日本原燃)

(1) 東電福島第一原子力発電所事故を受け、我々は変わったのか

—倫理規程改定と倫理委員会の活動から—

大場 恭子(JAEA/長岡技科大)

(2) 安全文化を育む九州電力の継続的な取組み —トップから現場まで—

福井 敏洋、岡本 奈央子(ともに九州電力)

(3) 総合討論

■ 3月12日(木) 13:00~14:30 A会場【福島第一原子力発電所廃炉検討委員会】

福島第一廃炉の安定化に関する討論

座長：佐藤 勇(東京都市大)

(1) 1F安定化に関する今後の検討方針

鈴木 俊一(東大)

(2) 廃炉リスク評価分科会の取組み

高田 孝(東大)

(3) 建屋の構造性能検討分科会の取組み

高田 毅士(JAEA)

(4) ロボット分科会の取組み

伊藤 倫太郎(JAEA)

(5) 廃棄物検討分科会の取組み

柳原 敏(福井大)

(6) 強度基準検討分科会の取組み

鈴木 俊一(東大)

(7) 1F事故探求分科会の取組み

山路 哲史(早稲田大)

■ 3月12日(木) 13:00~14:30 J会場【フェロー企画運営小委員会】

第18回フェローの集い

座長：藤田 玲子(フェロー企画委)

(1) 新規フェローの紹介

(2) 日本原子力学会フェローと小委員会の活動報告

(3) 議論

■ 3月13日(金) 13:00~14:30 C会場【教育委員会】

[学生連絡会、若手連絡会、国際原子力人材育成イニシアティブ事業(ANEC)共催]

学生・若手によるANECのすゝめ

座長：北田 孝典(阪大)

(1) ANEC事業の概要・モデルケース紹介

狩場 友治(文科省)

(2) リサイクルの視点をもつ戦略的な廃止措置マネージメント人材育成体験報告

田川 晴琉(東京都市大)

(3) ANECの強みを最大限に活かす - 原子力イノベーション留学の事例から

藤原 悠(阪大)

(4) オンライン講義・対面実習体験報告

多田 哲朗(アトックス)

(5) 総合討論

■ 3月13日(金) 13:00 ~ 14:30 F会場【ダイバーシティ推進委員会】

原子力学会におけるD&I推進の現在地 —会員とともに考える未来像—

座長：入澤 恵理子(日揮)

(1) 「ダイバーシティ&インクルージョン推進のためのアクションプラン」

3年間の活動と成果の報告(1)アクションプラン3年間の成果報告

小林 容子(メカニカルデザイン)

(2) 「ダイバーシティ&インクルージョン推進のためのアクションプラン」

3年間の活動と成果の報告(2)情報発信の現状と課題

本件に関する取材等お問合せ先

日本原子力学会事務局

TEL : 03-3508-1261 / E-mail: meeting@aesj.or.jp



吉橋 幸子(名大)

- (3) 「ダイバーシティ&インクルージョン推進のためのアクションプラン」
3年間の活動と成果の報告 (3)D&I活動で想定外だった点及び今後のアクション

古田 亜弥(MHI)

- (4) 「ダイバーシティ&インクルージョン推進のためのアクションプラン」
3年間の活動と成果の報告 (4)昨年秋のポスターセッションの取組

西村 昭彦(JAEA)

- (5) 会場の参加者との今後の方向性、未来像に関する意見交換

ダイバーシティ推進委員会メンバー、会場参加者

■ 3月13日(金) 13:00~14:30 I会場【福島特別プロジェクト】

原子力災害と自然災害の復興比較 ー福島と熊本から学ぶ地域再生の15年ー

座長：藤田 玲子(福島特別PJ)

- (1) 熊本地震から10年：益城町におけるコミュニティ再生と地域主体の復興活動

奥村 敬介(益城町)

- (2) 自然災害・原子力災害からの社会復興の共通課題

大矢根 淳(専修大)

- (3) 総合討論

合同セッション

■ 3月11日(水) 12:30~14:00 D会場

核データ部会、炉物理部会

JENDL-5.1の開発状況と軽水炉解析における核データ利用の課題

座長：辻田 浩介(福井大)

■ 3月11日(水) 12:30~14:00 I会場

核燃料部会、計算科学技術部会

核燃料開発へのAIの応用

座長：阿部 弘亨(東大)

総合講演・報告

■ 3月11日(水) 12:30 ~ 14:00 B会場

「ブロック型高温ガス炉の安全基準の調査研究」研究専門委員会

「ブロック型高温ガス炉の安全基準の調査研究」研究専門委員会 2025年度成果報告

座長：山本 章夫(名大)

■ 3月11日(水) 12:30 ~ 14:00 F会場

「過酷事故時及び事故後の放射性物質挙動」研究専門委員会

福島第一燃料デブリ処理・処分における詳細分析のために求められるスキル

座長：佐藤 勇(東京都市大)

■ 3月12日(木) 13:00 ~ 14:30 C会場

「原子力アゴラ」調査専門委員会

原子力研究開発インフラの一層のオープン化に向けて

座長：須山 賢也(JAEA)

■ 3月12日(木) 13:00 ~ 14:30 M会場

「原子力に関わる人文・社会科学的総合知問題」研究専門委員会[社会・環境部会共催]

「風評(被害)」を総合知から再考する

座長：土田 昭司(関西大)

本件に関する取材等お問合せ先

日本原子力学会事務局

TEL : 03-3508-1261 / E-mail: meeting@aesj.or.jp



※プログラムの詳細は、「2026年春の年会」Webサイトをご覧ください。

<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/aesj2026s>

大会年会を取材される報道機関のみなさまへ

報道関係者は無料でセッションを聴講することができます。取材をご希望の際は、2026年春の年会の「取材について」をご確認いただき3月4日（水）10:00までにお手続きをお願いいたします。

取材は取材申込書による事前申請のみ承ります。

取材について

<https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/aesj2026s/content/coverage>

☆ご注意☆

1. 年会総受付（熊本城ホール4階メインホールホワイエ）へお越しいただき、報道関係者窓口にて名刺をお渡しくください。
2. 会場へ入られましたら、取材を開始する前に、当該セッションの座長またはセッション担当者・関係者へ必ず取材の許可を得てください。また、同会場で複数のセッションを取材する場合は、その都度当該セッションの座長またはセッション担当者・関係者へ必ず取材の許可を得てください。個別の講演・発表として取材される際は、必ず各講師・登壇者および座長へ取材の許可を得てください。会場内では、参加者のプライバシーへのご配慮をお願いいたします。
3. 取材が終了されましたら、総受付へ名札を返却してください。

予稿閲覧について

報道関係者のみなさまであっても予稿は有償販売となります。

ご協力をよろしくお願いいたします。